

記録的な大雪「48豪雪以上？」との声も



倒壊したビニールハウス【南郷区】



倒木により塞がれた県道【筏区】



電話線への倒木により危険な状態に【土淵区】



倒木により塞がれた市道【鶴ヶ池付近】



雪害により倒壊した小屋【上平野沢区】



雪壁崩落により塞がれた市道【上平野沢区】

昨年の12月中旬から降り続いた雪により、山内地域のほぼ全域で倒木が発生し、一部の地区で停電により、寒さや暗さで大変不安な思いをされた方がいました。

1月4日、横手市は大雪災害対策本部を設置し、県の要請に基づき災害派遣された陸上自衛隊秋田駐屯地の隊員約70人により、6日から市内の小学校や孤立の恐れがある地区の要支援者宅の雪下ろしなどが行われ、山内地域では、1月8日に1軒、9日に3軒の要支援者宅の除雪作業が実施されました。

また、横手市災害協定に基づき、横手市建設業協会の協力により、山内地域の公共施設の除排雪作業を1月中旬に実施し、雪害を防ぐことができました。

今後は雪解けにより、屋根からの落雪や雪壁の崩落、雪崩などに巻き込まれないよう周囲に気を付けてくださるようお願いいたします。

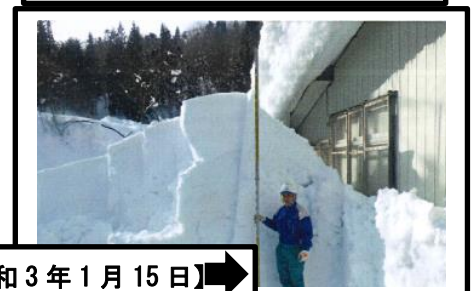
【参考】山内地域では、1月6日、2月5日同位の230cmの最大積雪深となりました。



山内地域局災害対策部の雪害の状況
【令和2年12月24日撮影】



「48豪雪」当時の相野々駅前



除雪作業前 吉谷地分館の状況【令和3年1月15日】